



滋賀短期大学 学 報

2022. 8. 1

No. 90

CONTENTS

- [理事長・学長メッセージ/P2]
- [『滋賀短期大学創立50周年記念行事』について、本学における情報リテラシーとデータサイエンス・リテラシー教育について/P3]
- [学長懇談会、学生自治会について/P4]
- [令和4年度のキャリアセミナー/P5]
- [各学科の紹介/P6~9]
- [特集1/輝く卒業生/P10]
- [特集2/滋賀短期大学 3センターの学生サポート/P11]
- [新任教員ごあいさつ/P12]
- [退職教員ごあいさつ、名誉教授称号授与について/P13]
- [私の青春時代、私の研究紹介/P14]
- [令和4年度学長表彰授与式、令和4年度 強化クラブの紹介/P15]
- [主な教育研究・社会活動/P16~P17]
- [就職状況/P18]
- [学内情報/P19~20]



滋賀短期大学 公式
Instagram



SHIGATAN1978



滋賀短期大学

〒520-0803 大津市竜が丘24-4 滋賀短期大学 紀要・図書委員会
電話 (077) 524-3605

ホームページアドレス <https://www.sumire.ac.jp/tandai/>



50年先の滋賀短を！

純美禮学園理事長
滋賀短期大学学長

秋山 元秀

滋賀女子短期大学が創設されたのは昭和45年（1970）でした。本来なら令和2年（2020）に50周年を記念したイベントを行う予定でしたが、結局このコロナ禍の中で何もできず、今年の秋には何とか記念するイベントを行いたいと計画しています。

この50年を振り返れば、大きな変化としては、当初の2学科から3学科体制へ、女子短期大学から共学へという変化があり、学生定員の変更なども時代の流れに合わせて行ってきました。そして今年からは、デジタルライフビジネス学科という新しい学科を立ち上げました。これは既存の学科を連係して新学科を設置するという方式によるもので、生活学科とビジネスコミュニケーション学科の特色を合わせもちながら、それにデジタルというコンセプトをもとに新しい分野を開拓しようという学科です。これにあわせて、新学科だけではなく、全学的にもデジタル教育の推進を、滋賀短の特色にしようと考えています。

いま日本では構造的な少子化によって学校教育の基本条件が大きく変わろうとしています。とくに高等教育において、その影響は深刻です。少子化にもかかわらず、4年制大学の入学者は増え続け、今年こそ少し減りましたが63万人を数え、18歳人口の55%に達します。これに短大・高専・専門学校を加えますと84%にもなります。大学に進学を希望すれば91%が、短大の場合は99%が、希望をかなえることができているのです。

大学全入時代というような言い方をされますが、短大はすでに早くからそういう状態になっていると言えます。そうなれば当然ですが、大学も短大も定員確保の

ために熾烈な競争を行うことになりますし、その結果、まず定員充足が至上命題になり、それを実現するためには教育上の問題がおおそかになることも避けられないかもしれません。4年制大学でも昨年度から私立大学全体ではじめて定員割れとなり、入学定員不充足の大学が47%になりました。短大はもっと厳しく、全体の定員割れは長期にわたって続いており、入学定員不充足の短大は全体の84%にもなります。同充足率80%を超える私立短大は、全国286校のうち半数の141校しかないのです。本学はなんとかこの141校のうちに入っていますが、今年はぎりぎりでした。

これからも18歳人口の減少は続きますから、十分な入学生を集めることができる魅力をもった短大として生き抜いていくためには、やはり本学が比類のない特色に裏付けられた教育力をもつ大学だという評価を得ることが必要です。50周年を経た今、次の50年に耐えるような将来構想を立てる必要があると思っています。50年というずっと長い期間のように思いますが、21世紀になってからでももう20年たっています。その間だけでも社会では大きな変化が起こっています。様々な分野でのデジタル化もその一つです。

高等教育というのは、現実の社会で一定の専門性をもって各々の分野の仕事をリードしていく人材を育成するのがその役割ですが、現在どのような人材が求められているのかを正確に見抜かなければなりません。今年から滋賀短の中長期的な将来構想を考えていく委員会を立ち上げます。学報の読者の皆さんからも、いろいろな意見をぜひいただきたいと思っています。

『滋賀短期大学創立50周年記念行事』について

1970年（昭和45）年に開学して以来、「心技一如」の建学の精神のもと、学生の育成に努めてまいりました。これまでご支援いただいた地域の皆さま方、大学の礎をつくり発展に力を尽くされた大学OBの皆さま方へ感謝の意を込めまして、また、在学生の今後の活躍の糧とするため記念行事を開催いたします。

記念行事については、長引く新型コロナ禍の影響でこれまで延期を重ねてまいりました。しかし、「withコロナ」が言われるようになり、また、昨今の新型コロナ禍の状況を踏まえまして、開催について学内で検討を重ねた結果、規模を縮小し、下記のとおり開催することを決定しました。

詳細については後日、本学HP等で掲載いたしますが、まずはご案内申し上げます。

記

創立50周年 記念講演会 & 記念トークショー

【日時】2022(令和4)年**11月6日(日)** 12:00(開場)/13:00(開会)

【場所】滋賀県立県民交流センター ピアザ淡海 2階ピアザホール



創立50周年記念講演会

講師：織作 峰子氏
(大阪芸術大学教授・写真学科長／
フォトグラファー)



創立50周年記念トークショー

講師：コシノヒロコ氏
(ファッションデザイナー／アーティスト)

『しがたんフェスタ』 【日時】2022(令和4)年**11月20日(日)** 【場所】滋賀短期大学

同窓生の皆さま、地域の皆さま、高校生の皆さまに今の滋賀短期大学をご覧、体験いただけるイベントを企画中。
ぜひ大学へお越しください。

本学における 情報リテラシーとデータサイエンス・リテラシー教育について

デジタルライフビジネス学科 特別教授 小山内 幸治

本学では昨年度より、学生のPC必修化を実施しました。また、全学でwifiに接続できる環境を整備し、学生は、自分のPCをいつでもインターネットに繋ぎ活用できるようになりました。これらにより、PCは、Google Classroomを活用した遠隔授業をはじめとして、多くの科目で、有効に活用されています。

これまで、全学でPCの基本的使い方を身につけ、実務現場で活用できるようにするためのコンピュータの基礎科目を必修として設置していましたが、これに加えて、今年度は、データサイエンスの基礎を理解するための科目も設置されました。

近年、AIやデータサイエンスを活用してビジネスを変革するDX（デジタルトランスフォーメーション）の必要性が叫ばれ始めています。このような動きをうけ、文部科学省も、各大学に「数理・データサイエンス・AI教育プログラム」の導入を推奨しています。本学でも、このプログラムに沿ったカリキュラムを編成し、この4月からデータサイエンスの基礎を学ぶ「データサイエンス・リテラシー」が、生活学科、ビジネスコミュニケーション学科、デジタルライフビジネス学科で必修となりました。来年度から幼児教育保育学科でも必修化される予定です。これらの科目を学ぶ事により、本学の学生には、コンピュータを使いこなし、データの取り扱い方や分析方法を身につけ、society5.0と呼ばれる新しい社会でも活躍できる人材になってほしいと考えています。

学長懇談会

学務課（学生担当） 永田 淳美

昨年に引き続き5月から6月にかけて学長懇談会を実施しました。

各学科、学生自治会、留学生のグループから、それぞれ1回生と2回生あわせて10名程度が参加し、グループごとに活発な意見交換を行い、大変有意義な場となりました。

大学からは、秋山学長、北尾学長補佐（学生担当）、永田学務課主任のほか、小杉学務課長心得、梅村学生相談室長が随時出席、留学生との懇談会には深尾副学長と清水美里特任助教も出席しました。

懇談会では、施設設備や学修環境に関する意見が多く出ました。特に、学生が昼休みや空き時間に友達とくつろいだり自習したりするためのアメニティ空間が少ないという声が昨年以上に多く聞かれました。大学として重要な検討課題と捉え、参加した学生に対し、より具体的な要望や提案を求めました。

また、学生どうしがつながる場、交流の機会が少ないという意見も多く聞かれました。コロナ禍で学生関係の事業が縮小される中、学科や学年を超えたつながりを持つことで、より充実した学生生活を送りたいという思いが強く感じられました。

その他に、授業や就職支援等についても、多くの意見が出されました。

今回学生から出たさまざまな意見を、今後の大学運営に活かしていきたいと思います。



学生自治会について

学生自治会 会長 織田 源之助

私たち自治会役員は、学生生活をよりよいものとするため、一同が力を合わせて活動しています。火曜日の昼休みにミーティングを行い、自治会活動を進めています。現在、役員7名で活動していますが、できるだけ多くの学生に協力してもらいたいと考えています。学生の声を集めるために意見箱も設置し、学生が楽しめるキャンパスづくりにつなげたいです。

去る5月26日には学生総会を終え、今年度の取り組みが本格的に始まりました。「自治会がどこにあるのか分からない」という声もありましたので、学生自治会の看板も作りました。残念ながら、体育大会や卒業記念パーティーは、コロナ禍の影響で開催しないことが決まっていますが、11月5日（土）には純美禮祭を開催する予定です。純美禮祭実行委員会を立ち上げて準備にかかります。まだまだ様々な制限はあると思いますが、学生生活の楽しい思い出となるよう、実行委員会が一丸となって作りあげていきます。今、社会には大きな変化が求められています。これを機に、いい意味での変化にチャレンジしていきたいと考えています。今年の純美禮祭は、そのひとつと考えています。OB・OGの皆さんが、遊びに来てもらえるイベントにできるように頑張ります！



令和3年度卒業生から記念品を寄贈いただきました。

- 体育館ステージ用階段 一式
- アルコール オートディスペンサー 8機



令和4年度のキャリアセミナー

生活学科

生活学科 教授 笹倉 千佳弘

生活学科の「キャリアセミナー」は、4月14日(木) 2限、新入生全員を対象にして「すみれホール」で実施しました。当日のスケジュールは下記のとおりです。

①滋賀短期大学の建学の精神について(中平学科長)②キャリア支援課職員の自己紹介と「就職・資格取得講座ガイド 2022年度」の説明(吉田課長、藤枝室長、塩川主事)③インタビュー形式による助手からのお話と質疑応答(北川特任助手、野畑特任助手)

全体の司会は笹倉が務めました。③は2部構成で、前半に、お二人から簡単な自己紹介と、キャリア決定に関して短大在学中に取り組んだこと等についてお話をいただきました。その後、クラスごとに話合いの時間をもち質問を考えました。後半は、各クラスの代表者がお二人に質問をして、それに答えていただきました。

全体としてきわめて充実した時間を過ごすことができました。学生の積極的な姿が目立ち、学びの多いセミナーとなりました。



幼児教育保育学科

幼児教育保育学科 准教授 三上 佳子

4月14日(木)、幼児教育保育学科新入生を対象にした「キャリアセミナー」を開催しました。セミナーでは、キャリア支援課職員の自己紹介と深尾副学長による本学の建学の精神である「心技一如」の説明後、本学卒業生の現役保育者3名に登壇いただき、「2年間の学生生活で大事にしてほしいこと」についてシンポジウムを実施しました。新入生にとって、先輩保育者の「学生時、専門演習や実習・自治会での体験が、保育者になって生かされた」というエピソードは、今後の学生生活をしていく上で、大きなエールになったと思いました。

その後、本学科2回生が、新入生と一緒に手遊びをし、楽しい交流の場となりました。2回生との交流は、新入生にとって、学生生活への期待や安心感につながる機会にもなりました。



ビジネスコミュニケーション学科・デジタルライフビジネス学科

ビジネスコミュニケーション学科 特任助教 清水 美里

4月28日(木)にビジネスコミュニケーション学科とデジタルライフビジネス学科の2学科合同で新入生を対象としたキャリアセミナーを実施しました。セミナーの目玉プログラムとして、ビジネスコミュニケーション学科の卒業生と教員の座談会を実施しました。医療、宿泊、飲食の分野でそれぞれ活躍している3名の卒業生を招き、在学中に取り組んだことや勤務先の仕事について話をしてもらいました。卒業生の先輩方の実体験を聞くという非常に貴重な機会とあって、学生は熱心に耳を傾けていました。その後、ビジネスコミュニケーション学科長の若生先生から名刺交換の方法について指導を受け、学生、卒業生、教員の全員が参加して名刺交換を行いました。今回のセミナーは、将来のキャリアを考えるうえでも、学生同士の交流も深めるうえでも、とても良い機会となりました。



生活学科

生活学科は食健康（栄養士養成課程）、製菓・製パン（製菓衛生師養成課程）、ライフデザインの3つのコースで編成されており、1回生73名、2回生87名が在籍しています。

2年間の学生生活で資格取得を目指し、専門的な知識・技術を身につけて充実した日々を送っています。

今回は、滋賀短大だからこそ学べる各コースの科目についてご紹介します。

食健康 コース

地域食育演習

附属幼稚園や附属保育園と連携し、食育活動を行っています。活動を楽しめるように実施するだけでなく、目的を明確にして計画を立て、実践をとおして課題を明確にし、解決する方法を検討します。また、保育・幼児教育の現場で子どもたちと接することで、かかわり方を学んだり成長を感じたり、体験することで得られることが多い演習です。



製菓・ 製パン コース

製菓応用実習

1回生で身につけた知識や技術を活かし、あらゆる角度から応用していく授業です。様々な技術が詰まった伝統菓子や季節の菓子を作ります。材料選択や製法の特徴を知り、後期には、自分でデザインやデコレーションなどを考え、製品を完成させます。この実習をとおして、より良いお菓子を作り上げる技術・感覚を磨いています。

ライフ デザイン コース

きものスタイリング演習

卒業式に向けて、自分の袴の製作を行います。製作に加え、着物・袴の正しい着付け、所作や立ち振る舞いを学ぶことで、和装を身近に感じ、楽しめるようになります。授業をとおして、基礎的な知識や技術を学び、現代との融合を図り、和装文化を継承・発展させていきます。



幼児教育保育学科

幼児教育保育学科では、1回生89名、2回生123名、合計212名が勉学に励んでいます。
実習もあり、忙しい2年間ですがそれぞれ目標や夢を持って学生生活を有意義に過ごしています。
数ある学びの中で「アドバンスアワー」「専門演習」「実習」を紹介します。

アドバンスアワー

卒業後、公務員保育者（公立園勤務）を目指したり、4年制大学への編入を希望したり、また保育現場で将来的には主任や園長といった管理職として活躍したいと考えている人対象に、2020年度から“アドバンス”と呼ぶ学びのプログラムを用意しました。通常の授業に加え、高校までの基礎学力を確認、小論文の書き方、プレゼンテーションの方法などについて学ぶ“アドバンスアワー”があります。みなさん、一生懸命学んでいます！



専門演習

2回生になると、自分が学びたいこと、研究したいことに分かれ、ゼミとして1年間学びます。本年度は11のゼミに分かれて、専門的な分野を学びます。その一コマを紹介します。

アウトドアクッキング

幼児対象に野外料理を体験させるために、何を作るか、どんなものを用意すればよいかなど計画を立て野外料理教室を開催しました。



幼児の中の算数

幼児期に体験させたい算数の土台となる遊びを研究するゼミです。この写真は布で作った絵本。園児が楽しみながら数を学ぶよう工夫しています。



保育実習Iだより

保育実習を終えて「保育者へのはじめの一步」

幼児教育保育学科 2回生 鳥居 千鈴

実習では、1歳児クラスを担当しました。初めての实習で緊張と不安がいっぱいでしたが、園の先生方にたくさんのことを丁寧に教えていただき、とても充実した実習をすることができました。

実習の目標としていた「保育者と子どもの関わりを学ぶ」については、実践の中で、保育者が子ども達とどう接し、どのような言葉かけをされているかを、具体的に知ることができました。また、1歳児は月齢差が大きいため、トラブル一つにしても援助の仕方が一人一人によって違うこともわかり、改めて、子どもの発達を把握しておくことの大切さを学びました。



ビジネスコミュニケーション学科

ビジネスコミュニケーション学科では、コミュニケーション力やホスピタリティマインドの向上を目指した授業を多く開講しています。授業内で、グループワークやグループディスカッション、プレゼンテーションなどを実施しており、学生同士の意見交換や自身の考えを表現する場となっています。

当学科の特色を授業やコース、学外活動を通してご紹介します。

◆ビジネスコミュニケーション学科での学びの特色

授業「秘書実務」

秘書実務の授業では、メールやビジネス文書の書き方から、名刺の扱い方、冠婚葬祭のマナーまで、社会人になって必ず役に立つ知識やスキルを学びます。さらに、電話応対や来客対応をはじめとした演習を通して、ビジネスシーンで必須となる言葉遣いや立ち振る舞いを身につけていきます。

授業「ホスピタリティ論」

ホスピタリティ論の授業では、感動を与えるおもてなしとは何なのかを考えます。実際の例をとりあげながら、ホスピタリティ・マインドをもって対応することを学びます。実生活での基本マナーや挨拶などの実践も行い、実社会に出て活用できる知識とスキルを身につけ、一歩進んだ対応ができるようになります。

☆医療事務コース

医療事務コースでは、受付業務や診療報酬請求事務だけでなく、基礎医学知識も学びます。また、実習科目として「病院実習」を実施しています。近畿では唯一「日本医師会認定医療秘書」の資格を取得できるのも特徴です。医療事務として働くための知識と実践力を身につけられます。

◆ビジネスコミュニケーション学科の学外活動

ボランティア活動

地域に根ざした活動も本学の魅力のひとつであり、当学科では地域ボランティア活動への積極的な参加を推奨しています。右の写真は、令和3年11月に、大津市市民活動センター主催の「SDGsを親子で体験するイベント『秋ほくほく』」に当学科の学生が参加した際のもので、学生がSDGsについて調べ、子供たちにも楽しく学んでもらえるようクイズ形式でプレゼンテーションをしました。資料作成などの事前準備から当日の会場での受付まで、学生一人一人が積極的に取り組む姿勢が見られました。



■令和3年度のボランティア活動参加実績

- ・平野学区「ひらのはっけんワクワクラリー」
- ・大津市市民活動センター主催 大津・SDGs協働支援チャリティプロジェクト2021フォーラム「2030年に大人になる子どもや若者とともに in 大津」

インターンシップ

当学科ではインターンシップという授業を設けております。学生自身がインターンシップ先を探し、夏休みと春休みに就業体験をします。その後、報告会を実施し、お互いの経験を共有します。令和3年度は、ホテルや公共施設大津市市民活動センター、一般企業などで20名ほどの学生を受け入れていただきました。その中には、インターンシップ先で就職が決まった学生もいます。インターンシップは、仕事の体験ができるだけでなく、将来のキャリアに直接つながる可能性もありますので、積極的に参加するよう働きかけています。



▲ 令和3年3月に実施したインターンシップ報告会の様子

本年4月、デジタルライフビジネス学科が誕生しました。

本学では、本年4月に、デジタル化社会の生活やビジネスに対応できる人材の育成を行うために、デジタルライフビジネス学科を新設いたしました。この学科は、生活学科とビジネスコミュニケーション学科が連携して教育を行う学科関係課程学科として設立されました。両学科の協力を得て、生活とビジネスの基礎を修得した上で、これからの社会で必要とされるデジタルの知識やスキルを身につけた学生を育成することを目指しています。

ここでは、このデジタルライフビジネス学科（以後DLB）の教育内容や取り組みについてご紹介いたします。

デジタル化社会で必要とされる4つの力

AIの発展とビッグデータの活用によって、生活や仕事が大きく変わり、社会的変革が起こるといわれています。

ビジネスの世界でもDX（デジタルトランスフォーメーション）が叫ばれ、データサイエンスやAIの活用などビジネスの変革が起きています。

このような中でDLBでは、①データサイエンスの分析力、②デジタルデザインの情報発信・表現力、③ものづくりデザインの感性や個性をいかしたものづくりの技術力、④ライフ＆ファイナンシャルデザインの新しい時代の人生設計および財産運用管理力の四つの力を身につけるカリキュラムを編成し、新しい時代に対応できる人材の育成を目指しています。またこれらの知識を統合するための実践科目も設置しています。



目指す就職先

デジタルライフビジネス学科では以下のような就職をイメージしています。

- ①データサイエンスの素養は現場の人材にも必要です。これからの社会では営業や事務の仕事で、データ分析の知識を活用していくことが必要とされていますので、とくに職種は選ばず、どのような分野でも就職は目指せます。
- ②DLBで身につけたデジタルデザインの知識とスキルを活用することで、専門職としてのウェブデザイナーや動画クリエイターはもちろん、企業の宣伝のためのSNSや動画配信を通して情報発信もできる営業や事務の人材として活躍できます。
- ③感性や個性を活かして、顧客にファッションやインテリアの適切なアドバイスができ、さらにファッションやインテリアのSNS広告などを発信できる販売員として活躍できます。
- ④ものづくりの知識とスキルを活かして、製造業の営業や事務として活躍することもできます。
- ⑤ものづくりデザインとデジタルデザインを融合することで、自分の作品を世界中に販売する会社を起業することも可能です。

授業に新しい技術を取り入れる

写真は、作成した洋服のデザインを3Dモデルとしてコンピュータに取り込んでいるところです。このように常に最新の技術を授業に取り入れ、好奇心を満たし楽しく学ぶ授業を行っています。



地域との連携

DLBは、学生の力を活用した地域との連携も積極的に行っています。現在、「20歳から29歳までの年齢層の定住を進めるためのプロモーションビデオ作成プロジェクト」を大津市と、「交通安全啓蒙プロモーションビデオ作成プロジェクト」は大津市警察署と取り組んでおり、半数以上のDLBの学生が参加しています。このように実際のプロジェクトを経験することで、実際に活用できる知識やスキルを身につけていきます。



輝く卒業生

生活学科（食健康コース）

2016年3月卒業生 平野 那奈

PDCAサイクル～安心安全よりよい食事提供を

地元の福知山で、栄養士として病院で勤務しています。主に食数・食材管理、発注業務、厨房業務等を行っています。高齢の患者様が多いので、栄養面だけでなく、咀嚼や嚥下状態に配慮した食事を一人一人に合わせて提供しています。現場と事務作業を両立し、日々忙しいですが、これまでたくさん失敗をしては乗り越え、成長してきました。特に自分はマイペースだったため、始めは怒られてばかりでしたが、時間配分に気をつけ、できる先輩を真似て作業効率を高める努力をしてきました。すると、時間に余裕ができ、仕事の範囲も広がり、やりがいやモチベーションへとつながっていきました。

今年は、キャリアアップしようと管理栄養士の国家試験に挑戦し、無事合格することができました。今後も失敗を恐れず、色んな事に挑戦し、知識を深めながら成長しつづけていきます。



幼児教育保育学科

2020年3月卒業生 田中 あみ

引き出しを増やして、自分らしい保育を！

私は滋賀短期大学附属すみれ保育園で5歳児の担任をしています。とても元気な子どもたちと毎日楽しく過ごしています。

今年で保育者になって3年目になりました。まだまだ失敗することや上手くいかないことも多くあります。そのため、自分の保育を振り返ったり、先輩の先生の保育を見て学ぶ時間を大切にしています。

学生生活の間に、私は保育の技術の引き出しをぜひたくさん増やしてほしいと思います。また、自分の得意なことを見つけたり、のびたりしてほしいです。私は手芸が好きなので、自分で手袋シアターを作り、保育に活用しています。また手遊びなどの保育の技術の引き出しが多いと、活動の導入や合間の時間の過ごし方に悩むことが少なくなるのではないかと思います。

子どもたちは一日の大半の時間を園で過ごします。かわいい子どもたちの成長に携われるこの仕事にやりがいと誇りを感じています。皆さんと共に働ける日を楽しみにしています。



ビジネスコミュニケーション学科

2019年3月卒業生 堀井 美咲

いろんな事に挑戦してみてください

市立大津市民病院で医師事務作業補助者として勤務をはじめ4年目を迎えました。

姉の影響もあり、医療事務職に就きたいと思い滋賀短期大学に入学し、授業の中で、医師事務作業補助者という存在を知りました。

在学中は、日本医師会認定医療秘書をはじめ、MOSや秘書検定など、様々な検定に積極的に挑戦しました。対策講座に参加をしたり、授業や放課後に過去問題やポイントを教えて頂いたおかげで、自信を持って試験に挑むことが出来ました。

実際の仕事の中で、医療知識だけでなく、患者様対応や電話対応、Excelの操作など、滋賀短期大学で学んだ事が、日々とても役に立っています。

短大での2年間はあっという間ですので、学生生活を楽しみつつ、色々な事に挑戦してみてください。自分の知らなかった得意分野が見つかるかもしれません。



滋賀短期大学 3センターの学生サポート ー入学から卒業後までー

ラーニング・サポートセンターは、皆さんの学びを応援します！

このセンターは、学生の皆さんの学びを応援するセンターとしてはじまりました。4学科の教員が、授業内容やレポートに関すること、就職試験対策、公務員試験対策、履歴書作成、面接対策、資格試験対策などをサポートいたします。留学生の皆さんには日本語試験対策なども行っています。自習に来る方もたくさんいらっしゃいます。昨年度からは、PC専門サポーターも配置しており、パソコンの設定、Word、Excel、PowerPointなどの質問も受け付けております。

私たちは、全教職員と連携し、皆さんの学びをサポートします。そのことを通じて、学生の皆さんに、学ぶことの意味や楽しさを知っていただきたいと考えております。勉強することは、自分自身の成長につながり、やがてそのことが人の役に立つこと、人に喜んでもらうことにつながります。今の学びが、将来の自分を作っていきます。共に成長しましょう！

キャンパスライフ・サポートセンターに皆さんの声を聞かせてください

キャンパスライフ・サポートセンターは、学生生活全般をサポートするセンターです。例えば、各種奨学金の窓口や安心・安全そして快適な環境作り、クラブやサークルに関すること、そして皆さんの心と身体の健康についてもサポートを行っています。困ったことがあれば、何でも相談できる“よろず相談窓口、”とも言えるでしょう。高校までとは異なり、大学では勉強も難しくなり、生活スタイルそのものも大きく変化します。その大きな変化の中で、悩みを抱える学生も少なくありません。センターには学生支援コーディネーターが配置され、カウンセリングの予約も行っています。気になることがあれば気軽に相談してください。センターは、玄関ホール左側の事務室内にあります。困りごとがあればセンターを訪ねてください。皆さんの声を聞かせてください。



キャリア・サポートセンター 各種資格取得をバックアップします！

就職活動のサポートだけでなく、各種資格試験の対策講座を開講し、学生の各種資格取得を強力にバックアップしています。

特に、MOS検定【Microsoft Office Specialist 365&2019 (Word/Excel/PowerPoint)】は、社会人として必須となるPC資格であり、受験を推奨しています。学科学年を問わず受講でき、就職活動の際は、履歴書の取得資格欄に記入できる資格でもあり、就活にも有利です。

授業日以外の日程（主に検定試験前の土日等、数日を利用した日程）、場所は本学のPC教室、講師は外部専門講師、受講料無料（テキスト代・検定料のみ自己負担）で、各項目を年間2回ずつ開講しています。2021年度は学生への推奨・PRを強化し、その結果、合格者は大幅に増加しました。

MOS検定合格者の推移

	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
Word	40	43	12	10	49
Excel	40	32	14	34	76
PowerPoint	6	14	8	不開講	24
年間のべ合格者数	86	89	34	44	149

（2019年度後期からコロナ感染症の影響があり受講者減少）

その他、ITパスポート試験対策講座、SPI筆記対策講座、公務員模試等も実施しております。



新任 教員

ごあいさつ

よろしく
お願いします

食べることは生きること

生活学科 特任助教 豊岡 真莉

私は主に高校の部活生といったスポーツ選手の栄養サポートを専門としております。皆さまは、食事に対してどのようなお考えをお持ちでしょうか。私は、食事は日々の健康を作り、人生の土台となり、自分自身を豊かにしてくれるなによりも大切なものだと感じています。食の楽しみを伝えることができる本職に携わることができることをとても幸せに感じております。学生の皆さんにとって実りある豊かな学生生活となるよう、サポートいたします。どうぞよろしくお願いいたします。



春、心を躍らせて

幼児教育保育学科 特任教授 菅 眞佐子

満開の桜と、抜群の琵琶湖の眺望に迎えられて、新入生と共に心を躍らせて着任をさせていただきました。個性的で魅力にあふれる学科の先生方に囲まれて、また、若者らしい夢と意欲にあふれる学生たちに出会うことができ、この大学で新たな活動の場をいただけたことを心からありがたく思っております。前任校での34年間の経験を活かして、緊張感を持って学生たちを育てて行きたいと思っております。とはいっても、実は根っからの粗忽者で、ご迷惑をおかけしてしまうことも多々あるかと思いますが、なにとぞよろしくお願いいたします。



心にひびく感動を

ビジネスコミュニケーション学科 特任准教授 菰 寛美

2022年4月より、滋賀短期大学で観光・ホテル・ブライダルコースを担当させていただくこととなりました。この度、滋賀短期大学で学生さんたちの教育に携われますこと大変うれしく存じます。コロナ禍で、大きな影響を受けた観光ビジネス業界です。苦戦しながら、3年目にはいりました。そのような中でも、学生さんたちは将来に希望をもって日々勉学に勤しんでいます。そのような真剣な学生のサポートができるよう精進したいと存じます。どうぞよろしくお願いいたします。



モノづくりは、『夢づくり』

デジタルライフビジネス学科 特任講師 河村 梨花

今年度よりスタートした新学科、モノづくり担当の講師としてお世話になっております。

『〇〇好き!!』という気持ちを大切に、自分の手で好きなモノを作りあげる為の基礎から専門的な手仕事スキルを楽しく習得し、学生の夢が実現できるよう全力でサポートすると決意いたしましたので、よろしくお願いいたします。



つくるをサポートしていきます

デジタルライフビジネス学科 講師 小笠原 寛夫

このたび、デジタルライフビジネス学科の新設に伴い、デジタルビジネスコースを担当させていただくことになりました。大変喜びを感じていると共に身の引き締まる思いです。私は学生時代に学んだデザインとアートを、現在自分の仕事に活かしています。就任4ヶ月ではありますが、デザインやアートに興味のある学生が多いことに日々喜びを感じています。

新学科は、自ら学び、ものを作り、ものを世に出し、ビジネスにつなげる学科です。そのような人材を育成する学科で私の知識や経験で皆さんの学びをサポートしていければと思います。



退職 教員

ごあいさつ

滋賀短期大学のさらなる弥栄を！

生活学科 教授 原 知子

3月31日をもちまして定年退職いたしました。滋賀短期大学での7年間を含めて35年間、何とか大過なく教育研究を行うことができましたのは、ひとえに皆様のご厚情のおかげです、心から厚くお礼申し上げます。四季折々の季節感あふれる琵琶湖や滋賀短の自然環境もすっかり心の風景になりました。また、退職に際しまして、皆様方から過分のご芳情を賜り本当にありがとうございました。

新年度は、科目の種類をしばって非常勤をさせていただきながら、勉強は続けていきたいと考えています。今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

末筆ながら皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げ、お礼と退職のご挨拶とさせていただきます。



皆様に「感謝満開」です

ビジネスコミュニケーション学科 特任教授 中村 吉弘

ホテルに勤務して43年間、そのホテルの経験を生かして大学で教鞭をとる機会に恵まれ6年間勤務し、無事退職を迎えることができました。学生に間違ったことは教えられないので、初めて真剣に勉強いたしました。このような楽しい人生を過ごせたのも皆様のおかげで、「おつりがくるくらい的人生だ」と思っております。3年前には「観光・ホテル・ブライダルコース」を皆様の指導のもと新設し、観光・ホテル・ブライダル関係に就職する学生を多く送り出したかったのですが、コロナが蔓延し観光関係の求人が減りました。早くコロナ禍が収束し観光関係を希望する学生が増え、観光関係に多くの学生が就職することを願っております。本当にありがとうございました、滋賀短期大学の正門の桜の木のように心は「感謝満開」です。



名誉教授称号授与について

令和4年3月31日に定年退職を迎えられた以下の方々に対して、滋賀短期大学名誉教授称号授与規程第2条第1号及び第3号の規定に該当し、教育上及び学術上に功績のあった者として、名誉教授の称号が授与されました。

「滋賀短期大学名誉教授称号授与式」を執り行い、秋山元秀学長より証書が手渡され、その長年の貢献に対し、感謝の言葉が伝えられました。

小山内 幸治 教授	勤続年数 11年
清水 まゆみ 教授	勤続年数 11年
原 知子 教授	勤続年数 7年



■ 私の青春時代

ビジネスコミュニケーション学科 教授 沖山 圭子

現在は医療分野にいますが、学生時代は大阪教育大学で小学校の先生を目指していました。ちょうどバブルになりかけの頃です。当時の大教大は3分校に分かれていて、1-2回は池田、3-4回は天王寺で過ごしました。部活は硬式テニス。10日間の夏合宿は過酷でしたが根性はついたかもしれません。世の中といえ、阪急梅田駅に自動改札機ができ紙の定期券が磁気定期券に替わり、2回生の時にテレホンカード公衆電話が出現。ファッションは「JJ」掲載のニュートラ。「ディスコ」のお立ち台で踊ったかどうかは、ご想像にお任せします（笑）。私の専攻は「地理学」。大教大の地理学教室は、7名の先生の下、学部生と院生と一緒に学ぶ活気ある教室でした。

当時は大学の中での飲酒がOKで、午後8時頃になると実習室は居酒屋に。学生食堂で1品100円のアテを調達し、お酒を飲みながら先生や先輩・同期といろんなことを話しました。また地理には年に数回の「巡検」というフィールド調査がありました。天橋立、伊根、淡路島、信楽、近江八幡、関、伊勢、長良川、鳥取、沖縄etc. 3回生の2月には中国桂林へ。これが私の人生初めての海外旅行。桂林の市場や街を歩き人々の暮らしに感心し、香港では街の匂いや特徴のある住宅に、これが外国!と刺激たっぷりの時間でした。この刺激が忘れられず、卒業旅行は2週間ヨーロッパへ。学生なので貧乏旅行でしたが、フランクフルト、ハイデルベルグ、パリ、ロンドンを、「巡検」しました。卒業と同時に時代はバブルに突入。システム勤務時代は、リゲインのCM「24時間働けますか」通りの働き方で、ボーナスが出れば海外旅行に。こうして振り返ってみると、多くを経験した贅沢な青春時代でした。私の行動力の原点がここにあるように思います。コロナ禍が収束して、また、海外へ巡検に行ければいいなと思っています。



▲桂林の街にて



▲システム企業時代（入社1年目）

■ 私の研究紹介 ■

科研費 基盤研究(C) (一般)「高齢者の金融包摂を通じた社会的包摂を推進するための金融教育」

デジタルライフビジネス学科 特別教授 小山内 幸治



2022年度の科学研究費補助金基盤研究(C) (一般)として、筆者が研究代表者として申請していた「高齢者の金融包摂を通じた社会的包摂を推進するための金融教育」が採択されました。

わが国では高齢化の進行は喫緊の課題になっています。そのような中、高齢者が直面する問題の一つとして、金融問題が指摘されるようになってきました。金銭面で苦境に立ち、利用すべき金融サービスについての理解がない状態、すなわち金融的排除の状態は、生活の苦しさからやがて社会的排除へとつながることになります。そこで金融とジェロントロジー（老年学）を結び付けた「金融ジェロントロジー」という学問領域が最近注目を集めています。しかし、高齢者の抱える金融問題に焦点が集まる一方、ではどのような金融教育が高齢者や関係者に必要であり、どうやってそれを提供するのか、どのような金融教育が有効であるのか、といった臨床面での研究はほとんどなされていません。筆者らはこれまで科研費の研究テーマとして初等教育から高等教育までの金融リテラシーの現状や求められる金融教育の在り方に関する研究を積み重ねてきました。その蓄積を、今回は、高齢者を支える公的機関等へのヒアリング調査とwebアンケート調査を通じて高齢者向けにアジャストし、高齢者の金融包摂を通じた社会的包摂を助ける教育プログラムを構築することに取り組む予定です。この取組が、最終的に高齢者の金融包摂ひいては社会的包摂につながるような成果を生み出せるように研究を続けていきたいと考えています。

令和4年度学長表彰授与式

本学では4月28日（木）、令和4年度学長表彰授与式を執り行いました。

今回は新2回生を対象に、在学期間中において極めて優秀な学業成績を挙げ、高い評価を受けた学生6名（各学科2名）に対して表彰状と副賞が授与されました。

学長より、コロナ禍で大変な状況の中熱心に勉強に励まれたことへの労いと本年度も引き続き努力されるよう激励の言葉が贈られました。

受賞者の皆さん、おめでとうございます。



受賞者は以下のとおりです。

生活学科	藤井 周平さん	藤田 直花さん
幼児教育保育学科	西 朗代さん	林 昌代さん
ビジネスコミュニケーション学科	赤井理紗子さん	平井 心音さん

令和4年度 強化クラブの紹介

バレーボール部

入学式を終えて間もない4月9日、3年ぶりの春季リーグが開幕しました。コロナの影響を受けながらも、5勝2敗の4位、3名が個人賞を獲得しました。リーグ戦は2部昇格を逃しましたが、新入生の活躍もあり6月19日の滋賀県総合選手権で優勝し、滋賀県代表として近畿総合選手権への出場が決まりました。今後は、西日本インカレなどの試合が続きます。感染症対策を心掛け、全員一丸となって試合に臨めるよう頑張っていきます。



バスケットボール部

現在、2回生11名（マネージャー2名含む）と1回生4名で活動しています。今年度末に顧問の山中先生が定年退職されることに伴い強化クラブとしての幕は閉じますが、関西女子学生バスケットボールリーグ戦（3部）で優勝を目指し、日々練習に励んでいます。昨年度から田中裕之先生にも顧問に就任していただき、次年度もクラブとしては継続していきます。引き続きご声援よろしくお願いいたします。（写真は昨年度リーグ戦終了後）



バドミントン部

バドミントン部は2回生4名のみと少人数ですが、毎日短時間の練習にしっかり集中し、無駄のない練習を心がけています。これまでの先輩方の成績を何とか引継ぎ、現在も関西学生リーグ2部（6位）で頑張っています。今年度で強化クラブとしての活動を終えますが、2部残留という結果を残せるように全員の心をひとつにし、集中して試合に臨みます。一人ひとり後悔がないよう、毎日の練習時間を大切にしていきたいと思っています。



ソフトテニス部

私たちソフトテニス部は、関西学生リーグ3部に所属しています。選手一人ひとりが自分自身とソフトテニスに向き合い、2部昇格を目標として、個人やチームの資質の向上に努めています。昨年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で多くの大会が中止となりましたが、目標達成のためにチーム一丸となり日々精進していきたいと思っておりますので、皆様の応援よろしくお願いいたします。



令和3年度 教育研究・社会活動(2021年4月～2022年3月)

1) 著書

- 秋山元秀 ■(共)標準高等地図指導資料 帝国書院 3月
■(共)新詳高等地図指導資料 帝国書院 3月
- 笹倉千佳弘 ■(共)みんなで子育て めんこの一と～いわて里親ハンドブック～ 吉田印刷 3月
- 三上佳子 ■(共)マンガとアクティブ・ラーニングで学ぶ 保育内容総論 教育情報出版 9月
- 松村都子 ■(共)指導計画:0歳児保育の展開((月刊)保育とカリキュラム) ひかりのくに 4月～3月

2) 本学研究紀要第 47 号

- 灰藤友理子、笹倉千佳弘、豊岡真莉
■(共)栄養教諭養成課程における教育実習指導の取り組みと課題
- 三上佳子 ■(単)「学生の自己肯定感を生み出す保育を“楽しむ”行為について—養成校における学生の保育参加や保育者との対話を通して—考察」
■(単)「新型コロナウイルス禍における子どもの主体性を大切に家庭と園との連続性—考察」
- 深尾秀一、北尾岳夫、柚木たまみ、三上佳子
■(共)身体的活動を基盤とした造形・音楽の融合的表現の意義II
- 久米央也 ■(単)第2学年「かけ算」の指導—考察
- 保田恵莉 ■(単)モンテッソーリ教育とコスミック理論
■(単)モンテッソーリ教育学における弱者と偏見の捉え方
- 李 霞 ■(単)シンガポール就学前教育改革の現状と課題についての考察
- 松村都子 ■(単)保育に存在する言葉の必然性
- 原知子 ■(単)クッキーにおける材料の影響

3) 学術論文

- 笹倉千佳弘 ■(共)コロナ禍におけるA県の里親養育と里親支援専門相談員の活動 大阪大谷大学紀要第56号 2月
■(共)コロナ禍を経験したA県の里親が求める養育支援 幼児教育実践研究センター紀要第12 3月
■(共)コロナ禍におけるA県の里親養育と里親専門相談員の活動 大阪大谷大学紀要56 2月
- 灰藤友理子 ■(共)偏食の観点からみた幼稚園児の食習慣に関するバズ解析 日本家政学会誌 4月
- 深尾秀一 ■(共)領域「表現」における「専門的事項」の教授内容検討II—7つのキーワード及び教授・学習・成長パラダイムの視点から— 日本乳幼児教育・保育者養成学会 乳幼児教育・保育者養成研究(2) 3月
- 柚木たまみ ■(単)M.ドラージュ作曲「7つの俳諧」の研究 奈良教育大学大学院教育学研究科修士論文 3月
- 李 霞 ■(単)シンガポールの幼児教育課程編成における「地域資源利用」の構想と実際『京都大学地域連携教育研究』 2月
- 田中裕之 ■(共)Sex-Inducing Activities of the Land Planarian Bipalium nobile Extract Fractions, Obtained Using Bioassay-Guided Fractionation, in the Freshwater Planarian Dugesia ryukyuensis. Zoological Science 12月

4) 学会発表

- 秋山元秀 ■(単)Tradition and Modern Development of the Historical Geography in Japan(多尺度、多時空と多様性論文集) 2021年中国歴史地理学国際学術研討会 7月
- 中平真由巳、山岡ひとみ
■(共)滋賀県の家庭料理 行事食の特徴 日本調理科学会 9月
- 笹倉千佳弘 ■(共)コロナ禍における里親養育と里親支援専門相談員の活動—A県を事例にして— 日本子ども虐待防止学会 12月
- 柚木たまみ ■(共)レクチャーコンサート「神話に基づく音楽」I ギリシャ神話に基づく音楽 日本音楽表現学会 6月
- 保田恵莉 ■(単)こどもと共に歩む道:0歳からの教育の尊さ 日本モンテッソーリ学会 7月
■(単)乳幼児への支援と育み:保育における根っこの考察 日本乳幼児教育学会 10月
- 李 霞 ■(単)グローバル化を意識したシンガポール幼児教育改革の理想と現実 日本比較教育学会第57回大会 6月
- 若生眞理子 ■(共)「キャリア教育・就職支援に秘書技能検定が果たす役割」 日本ビジネス実務学会 6月
■(共)「秘書技能検定が大学生のキャリアレディネスに及ぼす効果」 日本ビジネス実務学会 2月
- 田中裕之 ■(共)PDK4阻害剤クリプトタンシノン は、脂質の代謝を阻害し、KRAS活性化癌細胞の腫瘍化を抑制する 第80回日本癌学会学術総会(横浜) 10月
- 伊澤亮介 ■(単)チュノムの二次利用—音符または意符にチュノムをもつ形声字の整理・分類 第四回日本漢字学会 12月
- 原知子 ■(共)大阪府の家庭料理 行事食の特徴 日本調理科学会 12月
■(共)兵庫県の家庭料理 行事食の特徴 日本調理科学会 9月

5) 演奏会・展覧会 等

- 柚木たまみ ■ベル・エポックのオペレッタ 5/R(名古屋) 10月
■ベル・エポックのオペレッタ 鎌倉生涯学習センターホール(鎌倉) 10月
■前田則子教授最終講義「ピアノ演奏の魅力」 奈良教育大学講堂 3月
- 河村梨花 ■大垣中日文化センター主催 「私たちの作品展」 講師作品として展示 大垣市 2月
■KIMONO BRILLIANTS 2022 地区大会(京都会場) 予選通過 (全国大会8月開催予定) 京都市 2月

6) その他の発表

- 保田恵莉 ■高大連携授業:滋賀県立高等学校対象「小さな子ども達に必要な非認知能力ってなに?」 滋賀短期大学 8月
- 沖山圭子 ■日本医療秘書実務学会第12回全国大会シンポジウム「次世代の医療秘書・医師事務作業補助者に期待すること～入職前教育と入職後教育のあり方～」 日本医療秘書実務学会 (オンライン) 8月
- 清水美里 ■「ビルマ語ヨー方言について—一方言の地域差・年代差と民族意識に関する考察」 ビルマ研究会 5月

7) 国際的活動

- 秋山元秀 ■ Tradition and Modern Development of the Historical Geography in Japan(多尺度、多時空と多様性論文集)学会発表 中国・上海 (オンライン) 7月

8) 社会的活動

- 中平真由巳 ■ラムサールびわっこ大使指導者 沖の島、瀬田川など 年間6回
■甲賀市栄養教諭対象研修会講師「びわ湖の恵みを柱に豊かな水が育む食文化」 甲賀市給食センター 8月
■滋賀県栄養士会 料理サークル「絆」料理教室 講師 大津市平野公民館調理室 2月
■滋賀県湖っ子食育大賞 審査員 滋賀県 1月

- 石井明 ■「ものづくりの魅力講座」(滋賀県職業能力開発協会) 彦根市立高宮小学校 6月

北川志信、石井明

- びわ湖大津プリンスホテル ヘクセンハウス作成、展示(ペーカリー塾) 大津市 11月~12月
■一般財団法人 大津市勤労者互助会 ケーキ教室(いちごと生クリームのクリスマスケーキ) 当学 12月
■川西市人権施策審議会委員(川西市長 越田謙治郎) オンライン 随時
■児童等がその生命等に著しく重大な被害を受けた事案に関する第三者委員会委員(大阪市教育委員会 教育長 山本晋次) オンライン 大阪役所 随時
■「妊娠中からの母子支援」即戦力育成プログラム21 講師「『助けて』と言わない人へのかかわり方」(岡山大学大学院保健学研究科) オンライン 1月
■第71次教育研究全国集会 第11分科会に共同研究者として参加(日本教職員組合) オンライン1月

- 清水まゆみ ■滋賀の食事文化研究会 湖国の食事 展示 草津市 10月

- 原知子 ■守山市2021年度子育て支援員研修「乳幼児の食と栄養」講師 守山市 9月
■守山市家庭的保育者等現任研修「子ども(3歳児未満児)の栄養管理」講師 守山市 9月
■滋賀県家庭的保育者基礎研修「乳幼児の食と栄養」講師 当学 10月
■キャリアアップ研修「食育・アレルギー対応 栄養に関する基礎知識」講師 当学 11月
■守山すみれ講座「子どもが心を動かす食体験ーだしを味わってみよう」講師 守山市 11月

灰藤友理子、中平真由巳

- すみれ保育園 すみれがーでん おやつ提供 守山市 8月
■守山すみれ講座「子どもが喜ぶおやつづくり」 守山市 2月

灰藤友理子、中平真由巳、野畑公美、西野愛理

- 食育活動(みそ作り)の指導 守山市 2月

豊岡真莉、野畑公美、西野愛理、中平真由巳

- 令和4年度若い世代の食育 朝ごはんレシピ動画 作成 当学 3月

野畑公美、西野愛理、山岡ひとみ、豊岡真莉、中平真由巳

- 令和3年度びわ湖の魚を学ぶ学校給食連携促進事業 当学 12~3月

- 北尾岳夫 ■滋賀県スキー連盟 総務部長 通年
■京都YMCAスキー専門委員 通年

- 柚木たまみ ■大東市立小学校支援学級在席児童に対する音楽療法の実施(主催:大東市教育委員会) 大東市 1~3月
■守山すみれ講座「支援としての音楽ー療法的音楽の導入から社会利用へー」(主催:滋賀短期大学) 守山市 12月

永久欣也

- 守山市 家庭的保育者等現任研修 すみれ保育園 8月
■滋賀県 保育士等キャリアアップ研修 滋賀短期大学 10月

保田恵莉

- 守山市子育て支援員研修:基本研修 講師 守山市 8月
■守山市子育て支援員研修:専門研修ー地域保育コース 講師 守山市 9月
■守山市委託研修 講師 守山市 12月
■こどものアトリエ・子育て支援室主催「障害児福祉を重視したモンテッソーリ教育学における童歌」講演会 講師 豊岡市 2月

久米央也

- 守山市発達支援センター発達支援事業 教育相談員として園・小中学校への訪問指導 守山市 6月・11月
■栗東市教教育研究所主催 令和3年度夏季研修講座「指導力向上講座」講師 栗東市 7月
■大津市教育研究所主催 例3年度教職2年次研修講師 大津市 7月
■滋賀県保育協議会主催 新任保育者研修 講師 大津市 7月
■湖南省教育研究所主催令和3年度「湖南省教師力アップセミナー」講師 湖南省 8月
■滋賀県教育委員会主催 令和3年度学びに向かう力推進事業 公開研修会 講演 湖南省 11月

三上佳子

- 大津市 幼稚園研究会 5園 講師 大津市 11月・12月・1月
■守山市専門研修 造形遊び講師 守山市 11月
■滋賀県 家庭的保育等養成事業 講師 当学 7月
■甲賀市 家庭的保育者等基礎研修会 講師 甲賀市 8月
■守山市家庭的保育基礎研修 講師 守山市 11月
■滋賀県保育士等キャリアアップ研修 講師 当学 10月

松井典子

- 子育て支援講習会(大阪商業大学共同参画研究所藤井寺市地域子育て支援拠点事業) 藤井寺市 8月・12月

松村都子

- 甲賀市家庭的保育者等基礎研修 甲賀市 7月
■滋賀県 家庭的保育等養成事業 講師 本学 7月・8月
■家庭的保育者等基礎研修(滋賀県保育協議会) 本学 10月
■守山市園内研究4園 守山市 10月・11月・12月
■絵画実技研修(豊里町立豊郷幼稚園) 豊郷町 8月
■教職実践演習(滋賀大学) 大津市 1月
■職員スキルアップセミナー(滋賀県児童館連絡協議会) 大津市 2月

沖山圭子

- 全国医師会医療秘書学院連絡協議会運営委員 通年
■日本医療福祉実務教育協会専門委員 通年
■大阪緑涼高等学校キャリア教育講座 講師 6月
■松原市立第五中学校面接講座 講師 11月

江見和明

- 日本消費経済学会 理事 通年

清水美里

- 大津市立平野小学校 学校運営協議会 委員 大津市 通年

中村吉弘

- 一般社団法人 日本宿泊産業マネジメント技能協会 厚生労働大臣指定試験機関・ホテル技能検定ホテルマネージメント技能検定委員 西宮市 隔月

就職状況

令和3年度卒業生の就職状況について

キャリア支援課 課長 吉田 英史

令和3年度卒業生（令和4年3月卒）の就職活動は、幼児教育保育学科・生活学科では新型コロナウイルス感染による実習期間の延期等の影響を大きく受け、例年に比べ内定率が低い状況で毎月推移していましたが、本学生は最後まで就活を頑張りと、最終就職率は97.9%（就職者231名）となり、前年96.7%を上回る良好な結果となりました。

生活学科就職希望者48名に対し就職者は45名（就職率93.8%）、幼児教育保育学科就職希望者112名に対し就職者は111名（就職率99.1%）、ビジネスコミュニケーション学科就職希望者76名に対し就職者75名（就職率98.7%）、全体で就職希望者236名に対し就職者は231名（就職率97.9%）でした。近年増加傾向の4年制大学への編入学等進学者は10名、専門学校への進学者は5名。また、幼児教育保育学科の公務員合格者（正規）は10名、会計年度職は11名でした。滋賀県内の優良企業から多くのご採用をいただき、滋賀県内の就職率は全学科で82.7%となりました。令和3年度の就職先は次のとおりです。

（令和3年度）就職実績先

生活学科

栄養士関係 (福)甲南会 甲南のぞみ保育園／(福)春日福祉会 かすが保育園／(福)横大路こども園／(株)東洋食品／(株)ミールサービスたにぐち／富士産業(株)／(株)メフォス西日本／日清医療食品(株)／岐阜マルタマフーズ(株)／一富士フードサービス(株)／(株)LEOC／トーカイフーズ(株)／(株)ダイショク／(福)聖優会 特別養護老人ホーム菖蒲の郷

一般企業・その他 アーバンホテルシステム(株)／(株)ナカザワ／秦食品(株)／(株)WORLDS／(株)三立運輸／(株)ジャパンオートパーツ24／(株)ピー・エス・コープ／(株)ビードブルビー／(株)エーティーシー／(株)ビーネックスパートナーズ／(医)輝翔会(西大津歯科医院)／滋賀県教育委員会(会計年度任用職員)

製菓・製パン関係 (株)パレット／(株)ラスweet／(株)ロマンライフ(マールブランシュ)／スールボッシュ／(株)クエスト 高級食パン専門店寄本／(株)バンドゥマルシェ／スリール パティシエ オガワ／(有)菓樂(パティスリーカラ)

幼児教育保育学科

公立幼稚園・保育所・こども園(地方公務員)

正規採用：〔滋賀県〕大津市／草津市／守山市／栗東市／野洲市／湖南市／長浜市／彦根市／近江八幡市／〔石川県〕輪島市
会計年度職員：大津市／草津市／守山市／野洲市／東近江市

私立幼稚園〔滋賀県〕 (学)野村学園みどり幼稚園／(学)純美禮学園滋賀短期大学附属幼稚園

私立保育所〔滋賀県〕 (福)近松会 近松保育園／(福)榮福祉会 真野保育園／(福)一向山福祉会 専称寺保育園／(福)清高福祉会 いぶき保育園／(株)日本保育サービス アスク大津京保育園／(社)未来会 みらいこじょう保育園／(医)楽育会 楽らく保育園／(福)京滋会 草津コベル保育園／(福)聖パウロ会 光泉カトリック保育園／(福)洛和会 吉身保育園／(福)友愛 カナリヤ保育園／(学)ヴォーリス学園 ふるたか虹のはし保育園／(学)純美禮学園 滋賀短期大学附属すみれ保育園／(福)湖心会 こだまふれんど保育園／(株)ジッセント・シップ ぱれっと園たかの(株)リーディング・ラボ しもがりゆずのき保育園／(福)あかつき会 甲西あかつき保育園／(福)育新会 ひまわり保育園／(福)近江はちまん社会福祉事業協会 あおば乳児保育所／(福)森の子会 森の子保育園／(学)松風学園 ひこねさくら保育園／(福)善行会 しあわせ保育園／(福)ふたば会 稲枝ふたば保育園／(福)光寿会 長浜愛児園／(福)檸檬会れもんこの近江八幡保育園・レイモンド大津保育園・レイモンドみらい園／(福)くじら 石山くじら保育園・治田くじら学童保育所／(株)HOPPA HOPPA栗東駅前園(京都府)／(福)恵会 岩倉こひつじ保育園／(福)大谷すみれ会 大谷保育園／(福)錦会 稚松保育園／(福)博光福祉会 琴音つばさ保育園／(福)光寿福祉会 安永保育園／〔大阪府〕(福)徳和会 本町敬愛保育園／〔福井県〕(福)清菱会 チューリップ保育園／(福)つくし会 つくしんぼ保育園／(福)聖ルカ会 聖ルカ乳児保育園(三重県)／(福)伊賀市社会事業協会 三田保育園／中瀬城東保育園

私立こども園〔滋賀県〕 (福)湘南学園 保育の家しょうなん／(福)大津子どもの家福祉会 茶臼山こども園／(福)石光山会 石山寺こども園／(福)夕陽会 第二本福寺こども園／(福)南郷会 南郷こども園／(福)唐橋福祉会 大津あいあい保育園／(福)春風会 わかばこども園／(福)膳所福祉会 湖のこ保育園／(福)大津子どもの家福祉会 大津さくらこども園／(福)一向山福祉会 日吉台至明こども園／(福)良友会 淡川あゆみこども園／(福)みのり認定こども園みのり／(福)幸栄会 くるみこども園／(福)ご縁会 さくら坂南こども園／(福)友愛 速野カナリヤこども園／(福)絆敬会 ここのつす園／(独)公立甲賀病院 ひまわり園／(福)塔南学園 きりはら遊こども園／(福)紫雲会 岡山紫雲こどもみらい園／(株)HOPPA HOPPA近江八幡／(福)八宮会 八宮こども園／(福)心暖まる会 認定こども園ひかりの森／(福)檸檬会 レイモンド長浜南こども園／(福)のぞみ会 ないろこども園／〔京都府〕(福)柳辻福祉会 柳辻こども園／(福)大宅福祉会 おおやけこども園／(福)みのり福祉会 みのりこども園

施設など 〔滋賀県〕(福)小鳩会 小鳩乳児院・小鳩の家／(福)びわこ学園／(株)六匠 ともいくの森／セイセン(合)スキルアップスタジオTINO／(福)甲賀学園 鹿深の家／(福)道 多機能型重症児等デイサービスふあみりい〔京都府〕(福)京都総合福祉協会 グループホーム北部支援センター〔大阪府〕(福)四思学園

一般企業・その他 (株)タナカヤ／(株)ルボハウス一級建築士事務所／(医)敬愛会 東近江敬愛病院／ひとみ小町歯科

ビジネスコミュニケーション学科

医療関係 (地独)市立大津市民病院／(福)恩賜財団 済生会滋賀県病院／(医)仁生会 甲南病院／(医)瀬田川病院／(福)京都社会事業財団 京都桂病院／(医)畿内会 岡波総合病院／(医)木下レディースクリニック／菅原メンタルクリニック／(医)かがい医院／耳鼻咽喉科内藤クリニック／あかい矯正歯科／(医)緑和会グリーン歯科グループ

一般企業・その他 長浜市北部振興局(会計年度職員)／全国農業協同組合連合会 滋賀県本部／レーク滋賀農業協同組合／グリーン近江農業協同組合／北びわこ農業協同組合／レーク伊吹農業協同組合／滋賀県信用組合／キステム(株)／夏原工業(株)／ALSOK京滋(株)／滋賀トヨタ自動車(株)／滋賀日産自動車(株)／日産プリンス滋賀販売(株)／(株)ホンダカーズ滋賀中央／(株)ホンダカーズ京都／(株)京滋マツダ／(株)HAZ／(株)アヤハディオ／(株)ヤマダデンキ／(株)たねや／(株)国華荘 びわ湖花街道／(財)休暇村協会 休暇村近江八幡／アーバンホテルシステム(株)／ソフトバンクグループ(株)／(株)黒壁／(株)北近江自動車学校／辰巳産業(株)／滋賀建機(株)／(株)ホリゾン／(株)クリスタル光学／キョーラク(株)／(株)キーテック／滋賀シミズ精工(株)／小泉製麻(株)／日本シーエムアイ(株)／日本観光開発(株)／(株)ナカザワ／共栄工業(株) 京都工場／(株)針田鉄工所／ストラクチャルデザインストラテジー(株)／NIO税理士法人／滋賀テレコム(株)／(株)アイズケア／ペットショップ いっぱく／(株)GRiP'S／ディーゼルジャパン(株)／大進ホンダ(株)／モリス(株)／(株)ゆたか設備／カジワラホーム(株)／(公財)滋賀県スポーツ協会 滋賀県立アイスアリーナ／草津学区ひと・まちいきいき協議会／(福)長浜市社会福祉協議会／(福)桐生会 特別養護老人ホーム桐生園／(福)大樹会 遼近の郷特別養護老人ホーム／(学)純美禮学園 滋賀短期大学

学校法人純美禮学園の令和3年度決算・財務状況報告について

学校法人純美禮学園の令和3年度決算は、公認会計士の監査、学園監事の監査、理事会・評議員会の承認を経て、確定いたしましたので報告いたします。

事業活動収支計算書は、当該会計年度の各事業活動における収支の内容及び均衡の状態を明らかにし、貸借対照表は、本学園の年度末の資産状況を明らかにするものであります。

令和3年度決算報告について

事業活動収支計算書

令和3年4月1日から令和4年3月31日まで (単位千円)

教育活動収支	事業活動収入の部	科 目	決 算
		学生生徒等納付金	1,170,428
		手数料	28,011
		寄附金	5,376
		経常費等補助金	577,579
		付随事業収入	17,420
		雑収入	42,392
		教育活動収入計	1,841,206
	事業活動支出の部	科 目	決 算
		人件費	1,142,112
		内：退職給与引当	12,392
		教育研究経費	538,186
		内：減価償却	177,588
		管理経費	151,973
		内：減価償却	17,523
		徴収不能額等	2,740
教育活動支出計	1,835,011		
教育活動収支差額		6,195	
教育活動外収支	事業活動収入の部	科 目	決 算
		受取利息・配当金	39,681
		その他の教育活動外収入	0
		教育活動外収入計	39,681
	事業活動支出の部	科 目	決 算
		借入金等利息	4,200
		その他の教育活動外支出	0
		教育活動外支出計	4,200
	教育活動外収支差額		35,481
	経常収支差額		41,676
特別収支	収入の部	科 目	決 算
		資産売却差額	0
		その他の特別収入	40,931
		特別収入計	40,931
	支出の部	科 目	決 算
		資産処分差額	4,571
		その他の特別支出	0
		特別支出計	4,571
特別収支差額		36,360	
基本金組入前当年度収支差額		78,036	
基本金組入額合計		△ 85,975	
当年度収支差額		△ 7,939	
前年度繰越収支差額		△ 1,712,280	
基本金取崩額		1,781	
翌年度繰越収支差額		△ 1,718,438	

(参考)

事業活動収入計	1,921,818
事業活動支出計	1,843,782

貸借対照表

令和4年3月31日 (単位千円)

科 目	本年度末
固定資産	(5,576,747)
有形固定資産	4,029,978
土地	369,348
建物	2,725,339
構築物	274,559
教育研究用機器備品	341,756
管理用機器備品	38,037
図書	276,305
車両	4,634
特定資産	1,544,195
第3号基本金引当特定資産	374,374
退職給与引当特定資産	115,073
減価償却引当特定資産	1,020,000
住宅貸付引当特定資産	34,748
その他の固定資産	2,574
施設利用権	1,828
電話加入権	646
保証金	100
流動資産	(719,617)
現金預金	597,654
未収入金	121,078
貯蔵品	32
前払金	853
資産の部合計	6,296,364
固定負債	(981,228)
長期借入金	699,950
退職給与引当金	281,278
流動負債	(348,935)
短期借入金	33,330
未払金	79,894
前受金	216,636
預り金	19,075
負債の部合計	1,330,163
基本金	(6,684,639)
第1号基本金	6,195,265
第3号基本金	374,374
第4号基本金	115,000
繰越収支差額	(△1,718,438)
翌年度繰越収支差額	△1,718,438
純資産の部合計	4,966,201
負債及び純資産の部合計	6,296,364

後援会だより

後援会会長あいさつ

後援会会員の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は、後援会活動に対しましてご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

このたび後援会会長を仰せつかりました片山真理子でございます。

後援会は、事務局を滋賀短期大学事務局に置き、滋賀短期大学の充実、発展に協力することを目的とし、後援会会則第5条に掲げられている会員（正会員・賛助会員・会友）で組織されています。後援会の活動としては、学生の福利厚生、就職活動支援等に対する援助、課外教育やクラブ・同好会への活動支援を積極的に進めております。毎年6月に総会を開催し、前年度の事業報告、決算報告とともに新年度の事業計画、予算等の承認をいただいております。

新型コロナウイルス感染症の影響により、ここ2年間は後援会活動も縮小されておりました。令和4年度は世間の状況を注視しながら大学とも相談し、この大学生活という大切な時期を少しでも有意義に過ごせるよう、活動を進めてゆく所存でございますので、引き続き会員の皆様のご理解ご協力を賜りますようお願いいたします。

後援会会長 片山 真理子



同窓会だより

同窓会運営委員 副会長 村木 直子

同窓会の皆様、教職員の皆様におかれまして、まだ収まらぬコロナ禍ではございますが、ご健勝にてご活躍のことと存じます。平素は同窓会活動にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

この度は、同窓会設立50周年を記念いたしまして、祝賀行事を迎える準備をしておりましたが、残念ながら中止となりました。

50周年記念といたしまして、パンフレットと記念品をお送りいたしました。パンフレットの「50年のあゆみ」を今一度懐かしみ、短大の移り変わりや学生時代を思い出していただければ幸いです。そして、コロナが収束し、同窓会総会が晴れて開催されるときには、多くの同窓生の皆様にご参加していただきたいと思っています。今は、皆様が一日も早く安心して、生活できることを願うばかりでございます。

なお、同窓会窓口が滋賀短期大学キャリア支援課から総務課に変更になりました。何かご意見やご要望がございましたら、いつでもお知らせください。

今後も同窓会と母校を盛り上げていきたいと考えていますので、ご理解とご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。



人事異動

役職者

(令和4年4月1日付)

副学長・図書館長 深尾 秀一
学長補佐(教務担当) 江見 和明
(学生担当) 北尾 岳夫
(入試担当) 沖山 圭子
学科長(生活学科) 中平真由巳
(幼児教育保育学科) 久米 央也
(ビジネスコミュニケーション学科) 若生真理子
(デジタルライフビジネス学科) 小山内幸治

退職

(令和4年3月31日付)

生活学科 教授 清水まゆみ
生活学科 教授 原 知子
ビジネスコミュニケーション学科 教授 小山内幸治
ビジネスコミュニケーション学科 准教授 若生真理子
事務局長 浅見 義典

新規採用

(令和4年4月1日付)

生活学科 特任助教 豊岡 真莉
生活学科 特任助手 依田 絵理
生活学科 特任助手 久保 晶路
生活学科 特別教授 清水まゆみ
幼児教育保育学科 特任教授 菅 真佐子
ビジネスコミュニケーション学科 特任准教授 薮 寛美
ビジネスコミュニケーション学科 特別准教授 若生真理子
デジタルライフビジネス学科 講師 小笠原寛夫
デジタルライフビジネス学科 特任講師 河村 梨花

デジタルライフビジネス学科 特別教授 小山内幸治
学科事務室(デジタルライフビジネス学科) 嘱託職員 早川ひめか

(令和4年6月1日付)

キャリア支援課 嘱託職員 鴨田沙也香

昇任

(令和4年4月1日付)

幼児教育保育学科 教授 久米 央也

異動・昇任

()前職位

(令和4年4月1日付)

事務局長 中野 英樹
(事務局次長(兼)総務課長事務取扱)
事務局次長(兼) 太田美穂子(学務課長)
総務課長事務取扱 小杉ゆう子(学務課課長補佐)
学務課長心得 市原 淳美(学務課主事)
学務課主任

寄付報告

令和3年度は滋賀短期大学に3件のご寄付を賜りました。

ここにご芳名を掲載させていただき、感謝の意を表します。

村田 弥侑様
吉田 裕一様
古賀 かおり様
(順不同)

滋賀短期大学 教育研究充実基金の募集について

本学では本学の教育研究の充実を図る基金を蓄積するため寄付金を募集させていただき、目標金額達成の後、その基金の運用により教育振興に役立たせていただきたく存じます。

「滋賀短期大学 教育研究充実基金」への温かいご支援とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。なお、募集の一口金額は5,000円で賜らせていただきます。お申込み及びお問合せについては、下記事務局までご連絡ください。

滋賀短期大学事務局(総務課)

電話番号: 077-524-3605 E-mail: soumu@sumire.ac.jp



学報は年1回発行です。最新の学校情報や行事、ニュースはHPからご覧ください。